

柏野だより

2025（令和7）年
9月号

柏野学区防災まちづくり計画～明日の柏野学区の骨格をつくる安心・安全へ まちの大改造計画～（H30.3）策定後、コロナにより活動が難しい状況にありましたが、この6月から防災の取組を再始動させました。

はじめに「まなび舎」と題して、災害時図上訓練（DIG）を6月3日に実施しました。その後、出てきた意見をもとにまちを見直そうということで「防災まちあるき」を7月6日に実施しました。2回のワークショップで出た意見については裏面に記載しております。



防災まちづくりの基本方針と具体的な取組

み
ち

基本方針1：防災上重要な「みち」を確保し、安全性を高めます

基本方針2：生活道路の利便性を高めつつ、
避難できる「みち」づくりに取り組みます

基本方針3：柏野らしい風情ある町並みを残していきます

い
え

基本方針4：倒れない・燃えにくい「いえ」づくりに取り組みます

基本方針5：安心安全な生活環境にするために、空き家対策に取り組みます

基本方針6：まちの魅力である
京町家の保全や継承に向けて取り組みます

ま
ち

基本方針7：ゆとりある市街地空間を確保し、まちの防災性を高めます

基本方針8：地域コミュニティを活かした地域防災力の向上を図ります

基本方針9：学区全体で継続してまちづくりを進めていくための
新たな仕組みや体制づくりを構築していきます

参加者の感想（抜粋）

町内の集合場所の意義
を理解できました。



まちづくりは、
一つ一つコツコツと
小さなものから続け
ていくことが大切と
感じました。



町内で消火器やバケツの
数や設置場所に
偏りがあり、設置場
所について再考する
必要があると感じた。



継続して行う。
各町内の役員が集まる
機会がもう少し設けら
れればよいと思いま
す。





意見・取組の提案

これらの取組は、役員だけではできません。みなさんが防災に関心をもち、出来る範囲でも構いませんので、ご協力をしてくださることにより、実現へつながります。自分の大切な家族や家、柏野の未来を守るために、ぜひ一緒に活動しましょう。

地域の集合場所

- ご意見
- ・地域の集合場所の銘板を作成しては。この場所の意味や、この後取らなければいけない行動(安否確認、役割分担指示、避難誘導等)を記載する

こんな取組を進めたい

- ・町内会だけでなく、ブロック単位で消火器の位置の把握をして、初期消火できる体制づくり
- ・各戸への防災・防犯対策の意識づけになるようなシールなどを作成

消火器の適正管理

- ご意見
- ・町内によって、消火器の個数、管理状況がさまざまである
 - ・消火栓の上に、路上駐車などしないように

こんな取組を進めたい

- ・町内会での取組の周知、啓蒙活動により防災意識を高め、消火器の重要性を知ってもらう
- ・町内会だけでなく、ブロック単位で消火器の位置の把握をして、初期消火できる体制づくり

災害時の安否確認

- ご意見
- ・個人情報により、町内の助け合いがむずかしい
 - ・独居高齢者の状況が町内会でも把握ができない
 - ・火元(ガス、電気)の確認を周知し、初期消火につなげる

こんな取組を進めたい

- ・町内会での取組の周知、啓蒙活動により認知してもらうことから始める
- ・普段からコミュニケーションが取れる場所、集まれる場所づくり(例：絆カフェ)

危険個所の対策

- ご意見
- ・倒れそうなブロック塀があった
 - ・道が狭いので、地震で家が倒壊した場合の避難路が心配

こんな取組を進めたい

- ・住宅のリフォーム、相続発生時の建替え時に燃えにくい家へ
- ・家と家の隙間でも災害時は避難路に活用できるようにしておく